

たかはな

高花平小学校校長通信
平成22. 1. 28. (木)

No. 17

～児童アンケートの結果～

今回は、前回に引き続き、『児童アンケート』の結果についてご報告いたします。

No.	項 目	20年度	21年度
1	授業中、まじめに集中して学習することができた。	75	84
2	学習内容を、よく理解することができた。	77	84
3	進んで読書に取り組むことができた。	78	84
4	学校生活のきまりやルールを守ることができた。	70	82
5	多くの友だちと仲良くすることができた。	88	91
6	困ったことや悩みごとがあったとき、先生や友だちに相談することができた。	50	54
7	いじめや差別をなくすために、進んで行動することができた。	49	49
8	けがや病気に気をつけて、健康な学校生活をすることができた。	81	85
9	交通事故や不審者に気をつけて、安全に生活をすることができた。	88	92
10	好ききらいをなくし、できるだけ給食を残さずに食べることができた。	68	69
11	全体的に充実した学校生活を送ることができた	72	82

《数字は%で、A(そう思う)とB(どちらかといえばそう思う)の合計の数です》

昨年度と比べると、7の項目を除いてA+Bの肯定的な自己評価のポイントが増えています。また、ここには載せてありませんが、結果を細かく見ると、D(そう思わない)のポイントが、全体的に減っています。これらのことから考えると、全体的には昨年度と比べて、子どもたちは意欲的で落ち着いた学校生活を送っているように思います。前号でもお伝えしたように、まだまだ地域や保護者の皆様方を満足させられるような結果にはなっておりませんが、少しでも良くなってきたということは、指導する私たちから見ても、とても嬉しいことです。【裏面に続く】

----- 切 り 取 り 線 -----

()年 ()組 名前 《 》 A[]・B[]・C[]

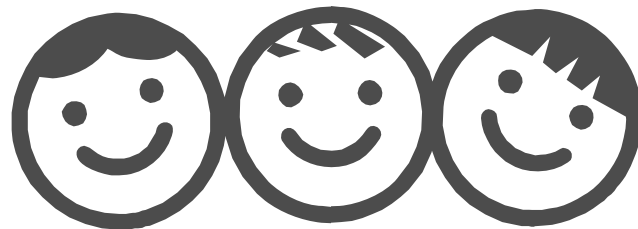
しかし、6・7の項目についてはA+Bの数字が
全体と比べると低く、これらの項目については、？
(わからない)という意見も20%を超えていました。

『教育相談を充実させて、児童の悩みを解決する』

ことと、『いじめや差別の解消のために進んで行動

できる子どもを育てる』ことが、平成22年度の本校教育の大きな課題だと認識しています。

それと共に、学校〔特に私〕が気を付けなければならないのは、学校に勤める人間が当たり前のよう
に使っている言葉を、もっと皆さん方にきちんと説明しなければならないということです。この1年間の
『学校だより』を読み返してみても、きちんと意味を説明もせず教育用語を使ってしまっていること
がいくつかありました。保護者の皆さん方にお願ひしたアンケートに『？(わからない)』という答えが
少なからずあったのも、私の説明不足の影響が大きかったのではないかと思います。次年度は、
もっと分かりやすい『学校だより』を目指すと共に、授業参観や学校公開週間等で、学校が行って
いる教育活動についてきちんと説明・実践するような機会を多く作っていきたくと考えています。



サルにご注意ください！

最近、高花平1丁目や八王子町から、『サルを目撃した！』という情報が学校に寄せられていま
す。1匹2匹ではなく、集団で見かけることもあるそうです。サルは基本的に山に住んでいますが、群
を離れて移動したり、山に食べ物が少なくなったりすると、市街地に姿を見せることがあるようです。
サルを見かける時間帯としては、昼間よりも朝夕が多く、ちょうど児童の登下校の時間帯にもあたりま
すので、以下の4点について、ご家庭でも十分にご注意ください。たとえ食べ物を持っていなくても、
ポケットに手を入れているだけで、食べ物があると勘違いして襲ってくることもあるそうです。



- (1) サルを見かけても、騒いだり刺激したりしない。
- (2) サルに近寄ったり、目を合わせたりしない。
- (3) 食べ物を持っても、サルに見せない。
- (4) 面白がって、サルに食べ物を与えない。

----- 切り取り線 -----
